

かきよう【佳境】

🔥 「隣の部署は忙しさの佳境を迎えている」

〈逆用〉「佳」は、良い、美しいの意で、心を動かしたり、興味をそそられたりするような場面が「佳境」。困難や過酷さをとまなうときに使うのは不適切。

① 言いかえ

😊 **大詰め** 「捜査もいよいよ大詰めだ」

😊 **ピーク** 「帰省ラッシュのピーク」

😊 **山場** 「選挙戦は山場を迎えている」

かくい【各位】

? 「関係者各位」

に行ったりするというニュアンスで使われる。

① 言いかえ

😊 **意向** 「衆院選出馬の意向を固める」

😊 **意図** 「明確な意図をもって研修を行う」

😊 **思惑** 「さまざまな思惑が渦巻く」

😊 **考える** 「新しい商品を考える」

😊 **企画** 「イベントを企画する」

😊 **企図** 「経済の発展を企図する」

😊 **計画** 「新たな施設の建設を計画する」

😊 **構想** 「新事業を構想する」

😊 **心積もり** 「先方の心づもりが分からない」

😊 **プラン** 「旅行のプランを立てる」

🔥 ほかの無礼語

企てる (P.68) ・ 小細工 (P.76) ・

魂胆 (P.83) ・ 策略 (P.84) ・ 企む (P.124) ・ 目

論む (P.202)

〈敬語〉「各位」は本来敬語なので、「各位様」のように「様」を付けるのは二重敬語で不適切とされる。ただ、敬語意識が薄れる傾向にあり、「お客様各位」「取引先様各位」といった使い方は許容とされることも多い。

① 言いかえ

😊 **諸賢** 「読者諸賢にはお気づきのことと思う」

😊 **諸氏** 「先輩諸氏に申し上げます」

😊 **皆様** 「ご家族の皆様」

😊 **皆様方** 「皆様方のご協力をお願いします」

かくさく【画策】

🔥 「企画を通すために画策しているそうだね」

〈悪事〉悪事を目的にしたり、手段を選ばず

